

## 東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

去る平成17年3月15日、東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内第37号踏切において発生したあの痛ましい事故から、間もなく1年が経過いたします。

貴社におかれましては、事故発生後、新たな歩道橋整備を始めとする緊急対策の実施及び抜本対策である道路と鉄道の立体化に関する検討会への参画など、迅速かつ積極的な取り組みに対しまして、厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、四つの緊急対策のうち、歩行者通行帯の拡幅やエレベーターの新設など三つは完了し、その後貴社が取組まれた踏切設備の自動化とともに、安全性の向上が図られました。残る歩道橋につきましても、本体工事に昨年10月に着手され、本年3月の完成を区民一同心待ちにしております。

また、道路と鉄道の立体化に関する検討につきましても、新たな検討会を中心に立体化の方法やまちづくりに関する技術的な検討を鋭意進めております。特に、鉄道立体化に関する調査におきましては、貴社の積極的なご協力に感謝申し上げます。

さて、鉄道高架化に寄せる地元の思いはすでにご承知のことと存じますが、事故後、あらためて竹ノ塚駅前で開始した署名は216,993名に達しました。

鉄道高架化早期実現まで粘り強く運動を続けるため、平成17年9月30日には、地元区民で組織する「竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会」、足立区関係の全会派の国会議員、都議会議員及び区議会議員で組織する「足立区議会鉄道高架化促進議員連盟」及び足立区が一つにまとまり、「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」を結成いたしました。

また、足立区では、「竹の塚鉄道立体化資金積立基金」を設け、将来の鉄道高架の事業化に備えるとともに、平成18年度連続立体交差事業調査費の要望を国土交通省に上げております。

竹ノ塚駅周辺は、足立区にとって北部の地域拠点であり、鉄道高架化に併せ都市機能の更新、地域商業の活性化を図っていきたいと考えております。

つきましては、216,993名の署名者を代表して、竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会役員から要請書を提出いたします。

あわせて、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化実現に向け、来年度予定しています連続立体交差事業調査をはじめ鉄道事業者としての技術的調査検討などにつきまして、積極的なご支援ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

平成18年2月7日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長  
足立区長 鈴木 恒年(印)

東武鉄道株式会社 取締役社長 根津 嘉澄 様